

第1回 地域生活支援部会ダイジェスト

発行元：半田市 平成30年6月

平成30年度地域生活支援部会では、障がいのある方が地域において一人暮らしをするための準備として活用できると考えている、体験的宿泊事業を推進していくことになりました。

第1回目は障がい児を対象にしている事業所へ声をかけさせていただき、事業の説明や実際に事業をしていただいた事業所の感想、また、グループホームの見学など、子どもの将来をイメージしていただきました。

日時：平成30年 6月25日（月）

10時00分～12時00分

場所：環がや（グループホーム）

参加者：事業所5名・事務局6名



体験的宿泊事業に取り組むために

すでに体験的宿泊事業を実施していただいている事業所の方に、宿泊時の活動内容や職員配置、注意すべき点など発表していただきました。夜の子どもの様子が今までの支援の中でとらえていた子どもの特性と少し違っていたなど、実施したことでみえてきたこととお話ししていただくことで、これから事業を実施する事業所の方に、おおまかなイメージをもっていただくことができました。また、これからも情報共有のための打合せをしていきたいとご意見いただきました。

子どもの将来をイメージして

障がい児を対象とした事業所の方に、障がい者（大人）のグループホームを見学していただき、子どもの将来の一人暮らしをイメージしていただきました。障がい児の事業所の方は、利用者と職員と一緒に寝ると思われていたが、グループホームでは、一人一人が別々に寝ていることに驚いたとの感想がありました。子どもの将来をイメージして、子どもの年齢や障がい特性を考えながら、宿泊プログラムを実施していただくことをお願いしていきます。

報告会でよいよ事業へ

地域生活支援部会では、今年度の体験的宿泊事業の実績や、報酬面の過不足、人員配置や活動に対する要望など、気になることを報告する会を平成31年2月ごろに予定しています。体験的宿泊事業は、事業所の方の協力が必要不可欠であり、障がいのある方、事業所の方が気持ちよく活用できるよう、報告会での意見をいただき参考にさせていただきながら検討を重ねていきます。

お問い合わせ 半田市障がい者自立支援協議会事務局

半田市障がい者相談支援センター（羽生田・青木） TEL 0569-21-5585

半田市地域福祉課（村瀬・木原） TEL 0569-84-0641

